## 木質パネル産業の国際マーケティング戦略

Global Marketing Strategies of Wood Based Panel Industry

環境材料設計学研究室 木下武幸 (M1) · 幡建樹 · 今村航平 · 井上雅文

### 背景

- ◆日本の木材自給率目標 2025年:50%超(2018年:36.6%)
- ◆国産材供給量目標4000万㎡ 林産物総需要量見通し7900万㎡ ◆木質パネル(合板、パーティクルボード(PB)、MDF等)は住宅への依存度が大きい。今後の住宅需要は2030年に17年比63%に落込むと予想される。

#### 国産材供給量の拡大と国内木質パネル市場の縮小 【国産材の需給ギャップは今後益々拡大する】

◆ 森林・林業基本計画における市場創出(林野庁)

① CLT等の新たな製品・技術開発と普及 ② 非住宅分野や土木分野等への利用

③ 東京五輪を契機とした木材利用のPRの促進

④ 木質バイオマスのエネルギーやマテリアル利用の促進

⑤ 付加価値の高い木材製品や家具の輸出促進 等

#### Table 1. Japan's production and import/export volume of wood based panels 2018

		Production (A) ×1,000m <sup>3</sup>	Import(B) ×1,000m³	Domestic consumption × 1,000 m <sup>3</sup>	Export (C) ×1,000m <sup>3</sup>	C/ (A+B) (%)
	Plywood	3,298 (3,287)	2,934 (3,017)	6,109 (6,190)	123 (114)	2.0 (1.8)
	PB	1,069 (1,093)	257 (248)	1,314 (1,326)	12 (15)	<b>1.0</b> ( <b>1.1</b> )
	MDF/HDF	396 (415)	557 (535)	944 (932)	9 (18)	1.0 (1.9)
	OSB	n	285 (280)	285 (280)	n	_

**MDF**: Medium density fiberboard **HDF**: High density fiberboard **OSB**: Oriented strand board

> (出典:FAOSTAT ( ) 内2017年)

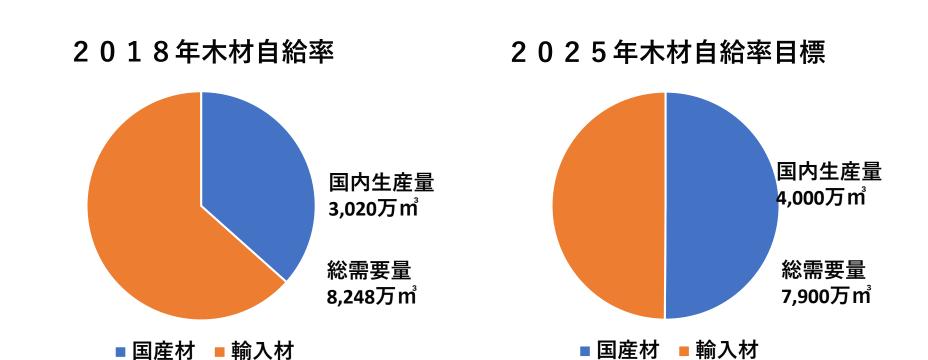


Fig.1 Forecast of self-efficiency rate in Japan (出典:林野庁)

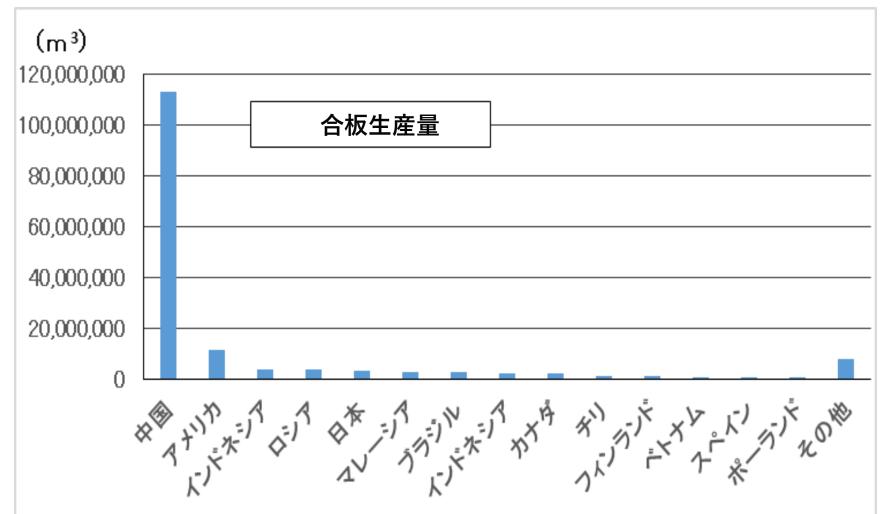


Fig.3 Plywood production in the world 2017

(出典:Comtrade)

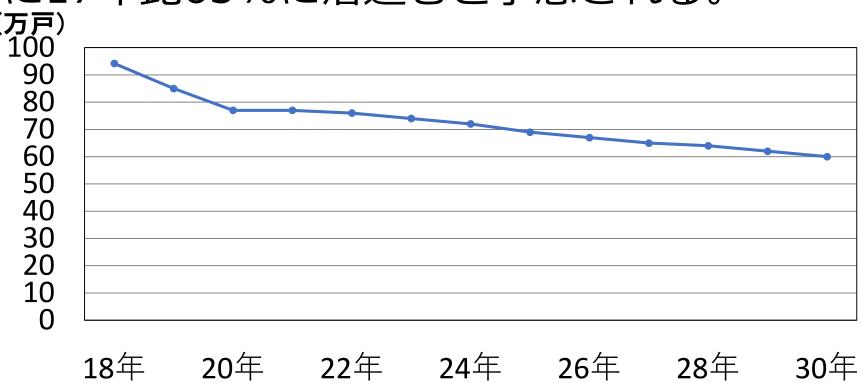
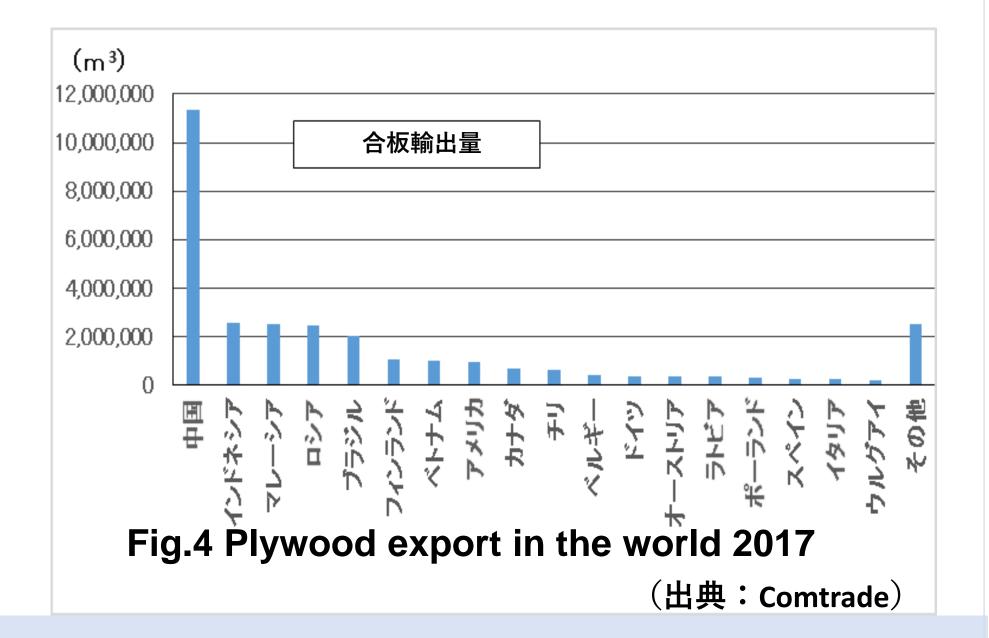


Fig.2 Forecast of housing starts in Japan (出典:野村総合研究所)



#### 目的と方法

#### 目的:日本における木質パネル産業の輸出増の課題と解決策を検討する。

- (1)世界における主要な木質パネル貿易国の輸出入の実態を貿易統計より明らかにする。
  - (2)世界における主要な木質パネル貿易国の需要構造を類型化し、輸出比率と木材自給率の関係などを分析する。
  - (3)木質パネル産業の国際マーケティング戦略を分析するとともに、資源量、市場規模、購買力等から貿易が成立する要因について検討する。

### 世界の木材資源(Fig.5-7)と主要木質パネル輸出国の貿易の実態(Fig.8-13)

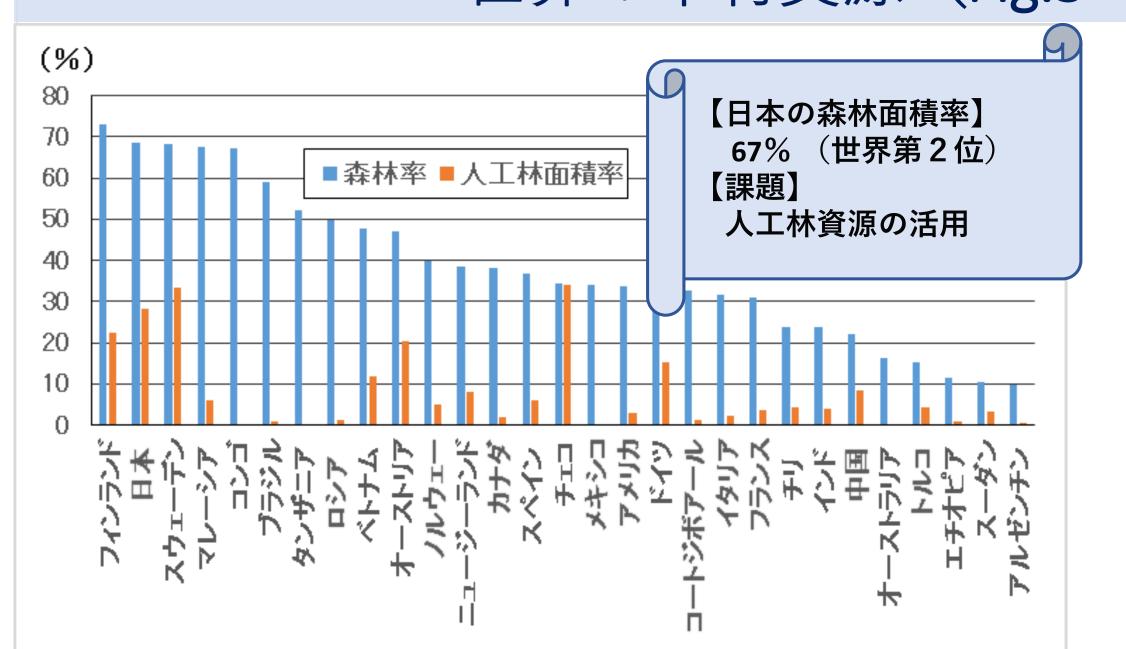


Fig.5 Forest ratio and planted forest ratio in the world (出典:FAO 2015)

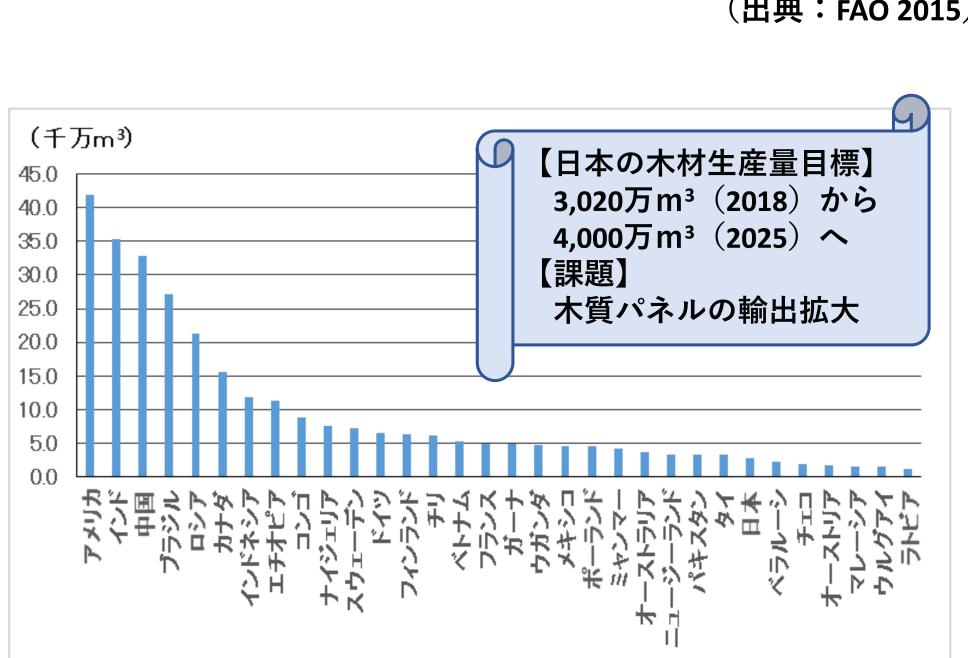


Fig.6 Roundwood production in the world 2017 (出典:FAOSTAT)

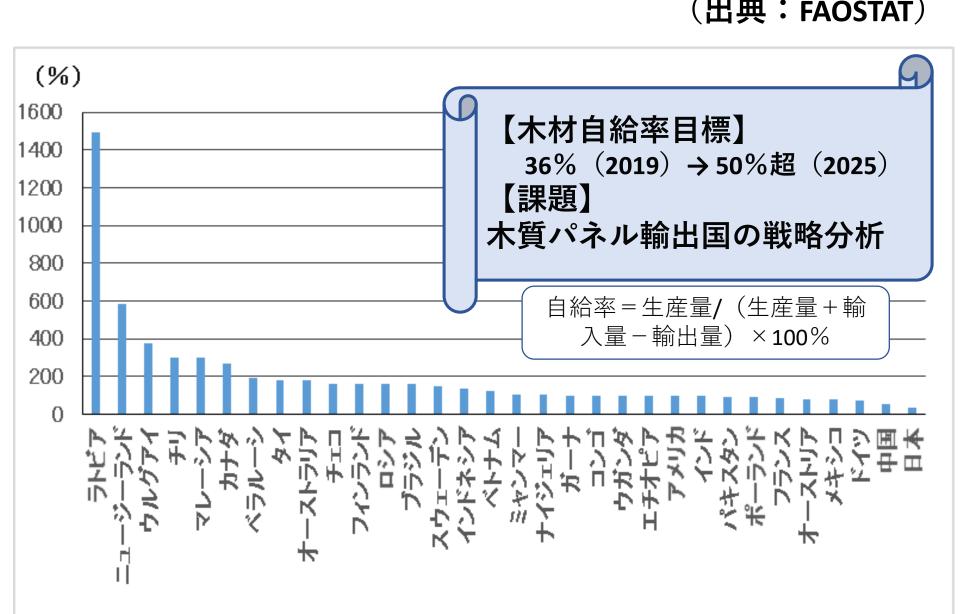
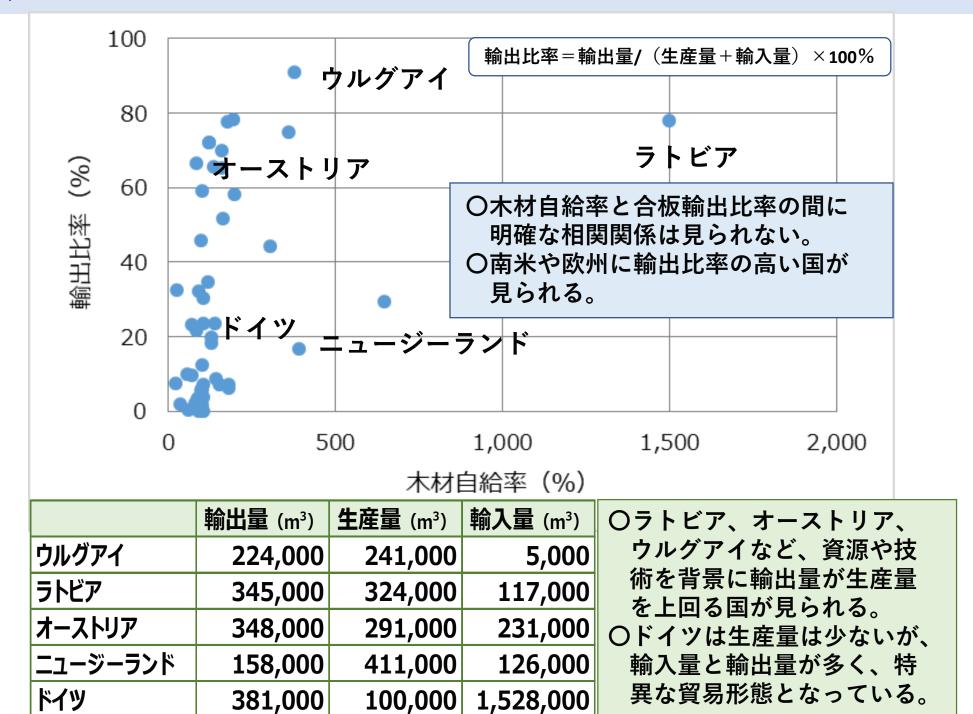


Fig.7 Self-efficiency rate of wood 2017

(出典:Comtrade)



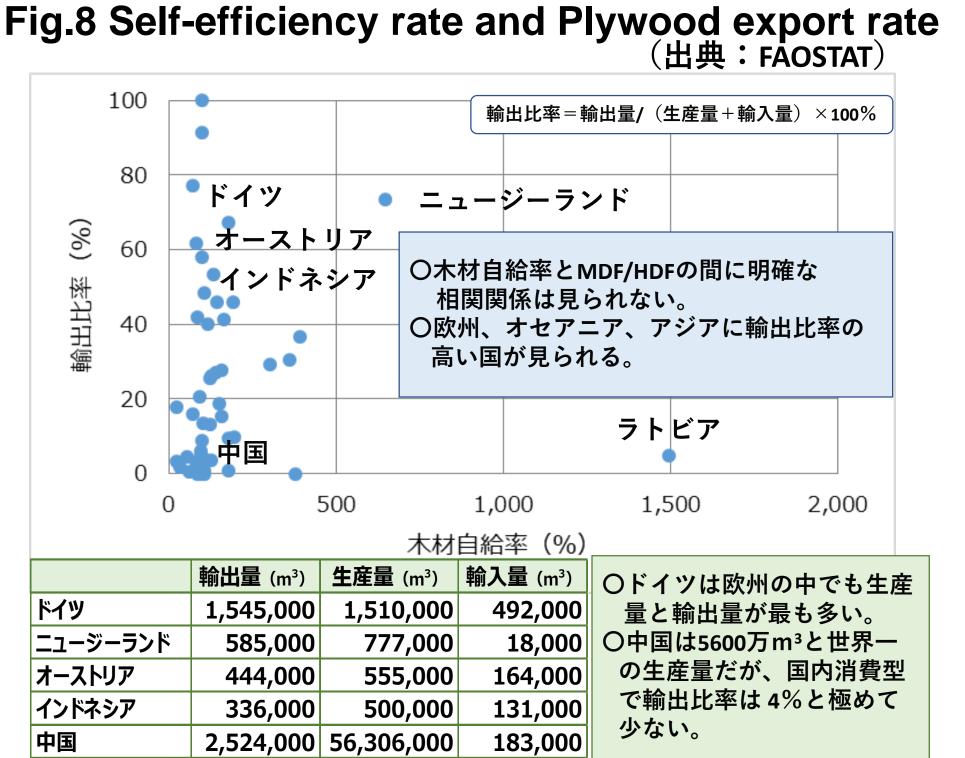


Fig.10 Self-efficiency rate and MDF/HDF export rate Fig.11 Self-efficiency rate and OSB export rate



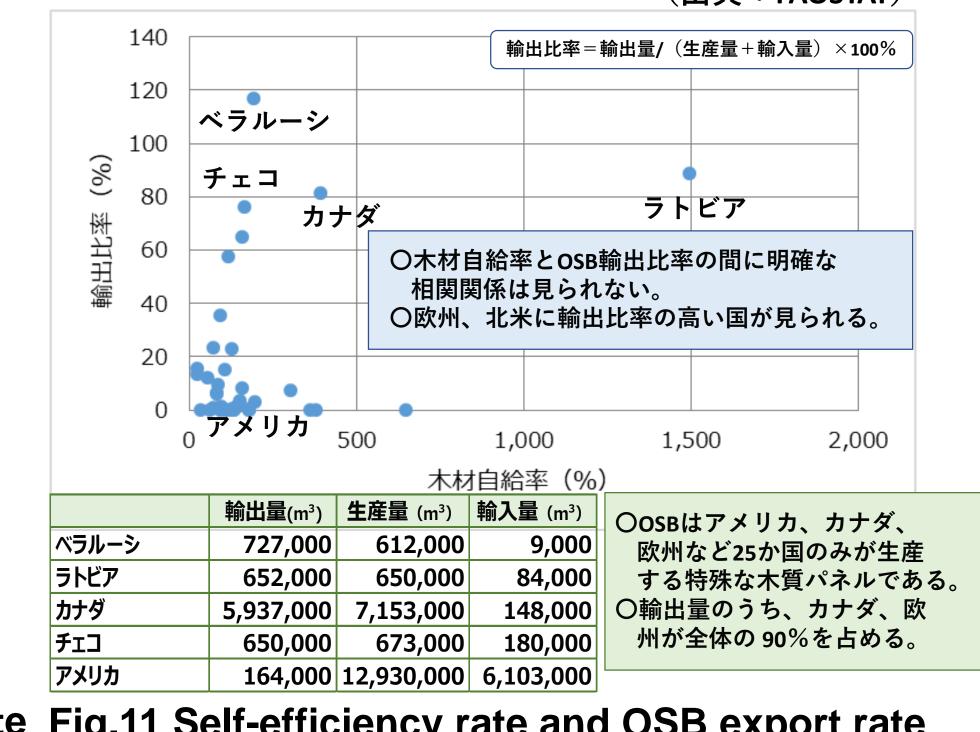
Fig.12 Plywood export destination of Germany (出典:Comtrade)

・マレーシア ラトビア (%) ニュージーランド 輸出比率 〇木材自給率とPB輸出比率の間に 明確な相関関係は見られない。 〇アジアや欧州に輸出比率の高い国が 見られる。 1,000 木材自給率(%) ○マレーシアの輸出量(≒輸入 量) は生産量の5倍を超えて マレーシア 579,000 102,000 544,000 おり、貿易の実態は明らかで

ラトビア 407,000 47,000 450,000 チェコ 862,000 483,000 577,000 2,511,000 3,200,000 11,000 ニュージーランド 81,000 158,000

はない。 〇チェコは生産量以上に輸入量 と輸出量が多く、特異な貿易 形態となっている。

Fig.9 Self-efficiency rate and PB export rate (出典:FAOSTAT)



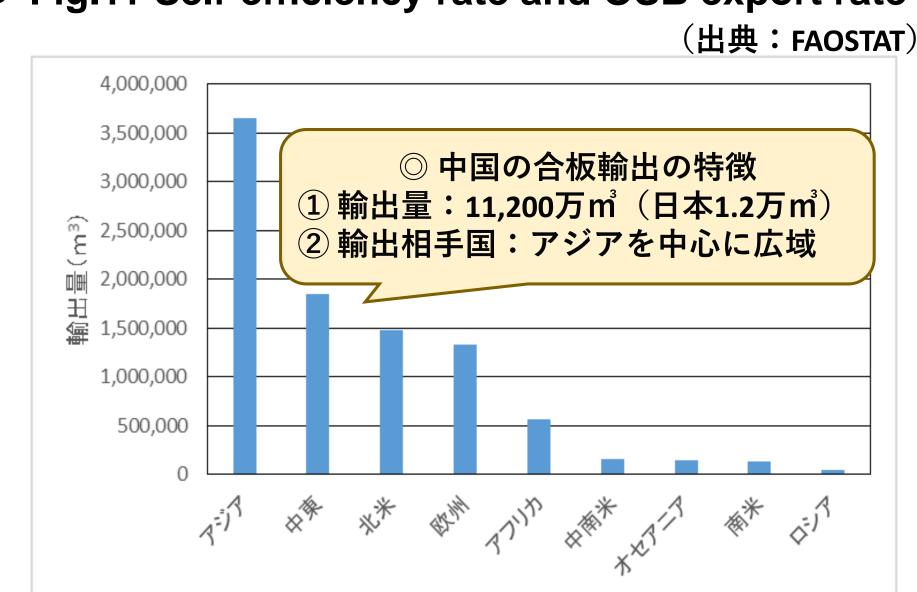


Fig.13 Plywood export destination of China (出典:Comtrade)

# 結果と今後の検討課題

- ●主要木材生産国において、木材自給率と木質パネル輸出比率に相関関係は見られなかったが、木質パネル貿易国で輸出量が生産量を上回る国が見られた。
- ●合板輸出国の貿易の特徴;ドイツ(欧州・輸出型)の輸出相手国は90%以上が欧州だが、中国(アジア・国内消費型)の輸出相手国はアジアを中心に広域にわたるなど、異なる傾向が見られた。
- ●今後はPB、MDF/HDF、OSBについても輸出国の貿易の特徴を分析した後、主要木質パネル貿易国の原料調達、製造技術などについて分析する。